

令和7年度 学校評価アンケート分析結果

宮城県登米総合産業高等学校

1 調査対象 (在籍生徒数 [令和7年11月1日現在] および調査回答人数) ※ 問いによって無回答あり

学年	第1学年	第2学年	第3学年	生徒計	保護者	教職員
在籍数	151	158	165	474	474	78
回答数	133	105	118	356	234	70
回答率	88%	66%	72%	75%	49%	90%
			昨年度回収率	75%	59%	97%

2 調査期間および調査方法 令和7年11月13～28日 質問紙法

3 調査内容およびアンケート調査結果集計概要 (単位: %)

(1) [教育課程] 学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度
よく当てはまる	62.4%	67.6%	65.3%	65.1%	93.4%	29.8%	93.6%
だいたい当てはまる	33.8%	25.7%	25.4%	28.3%	6.6%	63.8%	93.2%
あまり当てはまらない	2.3%	2.9%	3.4%	2.8%	6.4%	5.3%	6.4%
当てはまらない	1.5%	3.8%	5.9%	3.7%	1.1%	0.4%	6.8%
							8.4%
							2.0%
							10.4%

(2) [学習指導] 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度	職員計	昨年度
よく当てはまる	55.6%	68.6%	66.1%	63.4%	88.0%	28.5%	91.2%	53.4%	83.8%
だいたい当てはまる	34.6%	22.9%	16.1%	24.5%	12.0%	62.8%	8.8%	30.3%	61.4%
あまり当てはまらない	6.8%	7.6%	13.6%	9.3%	2.1%	6.6%	8.8%	15.0%	15.7%
当てはまらない	3.0%	1.0%	4.2%	2.7%	1.3%	1.3%	16.2%	1.3%	1.0%
								21.8%	83.3%
								84.3%	98.6%
								25.8%	90.3%
								14.3%	64.5%
								1.4%	9.7%
								0.0%	0.0%

(3) [生徒指導] 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度	職員計	昨年度
よく当てはまる	48.1%	58.1%	50.0%	52.1%	88.8%	37.5%	89.6%	61.4%	90.1%
だいたい当てはまる	42.9%	33.3%	33.9%	36.7%	11.2%	52.1%	10.4%	28.8%	90.1%
あまり当てはまらない	6.8%	7.6%	11.0%	8.5%	2.1%	9.0%	10.4%	9.0%	9.9%
当てはまらない	2.3%	1.0%	5.1%	2.8%	0.9%	0.9%	9.9%	0.9%	9.9%
								25.9%	84.7%
								55.7%	94.3%
								41.3%	92.1%
								38.6%	50.8%
								4.3%	6.3%
								1.4%	1.6%

(4) [進路指導] 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度	職員計	昨年度
よく当てはまる	53.4%	61.0%	50.8%	55.1%	94.0%	44.0%	95.7%	53.6%	82.8%
だいたい当てはまる	39.1%	35.2%	42.4%	38.9%	6.0%	51.7%	4.3%	29.2%	85.0%
あまり当てはまらない	5.3%	1.9%	3.4%	3.5%	1.1%	3.2%	4.3%	16.7%	17.2%
当てはまらない	2.3%	1.9%	3.4%	2.5%	0.4%	0.4%	17.2%	0.4%	17.2%
								25.9%	85.0%
								71.4%	97.1%
								33.3%	93.7%
								25.7%	60.3%
								1.4%	6.3%
								1.4%	0.0%

(5) [教育相談] 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度	職員計	昨年度
よく当てはまる	51.9%	64.8%	57.6%	58.1%	90.4%	35.6%	92.8%	54.9%	83.7%
だいたい当てはまる	41.4%	27.6%	28.0%	32.3%	9.6%	57.2%	7.2%	28.8%	83.7%
あまり当てはまらない	4.5%	6.7%	9.3%	6.8%	2.1%	5.1%	7.2%	15.5%	16.3%
当てはまらない	2.3%	1.0%	5.1%	2.8%	0.9%	2.1%	7.2%	0.9%	16.3%
								20.7%	82.7%
								52.9%	98.6%
								58.7%	100.0%
								45.7%	41.3%
								1.4%	0.0%
								0.0%	0.0%

(6) [部活動] 部活動は活発に行われている

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度	職員計	昨年度
よく当てはまる	36.1%	55.2%	49.2%	46.8%	92.1%	43.9%	92.3%	51.3%	86.3%
だいたい当てはまる	58.6%	39.0%	38.1%	45.3%	7.9%	48.4%	7.7%	35.0%	86.3%
あまり当てはまらない	2.3%	4.8%	6.8%	4.6%	1.1%	5.6%	7.7%	11.5%	13.7%
当てはまらない	3.0%	1.0%	5.9%	3.3%	0.4%	2.1%	7.7%	2.1%	13.7%
								33.1%	87.7%
								70.0%	85.7%
								32.3%	88.7%
								15.7%	56.5%
								12.9%	11.3%
								1.4%	0.0%

(7) [生徒会活動] 生徒会活動は活発に行われている

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度	職員計	昨年度
よく当てはまる	51.9%	60.0%	52.5%	54.8%	86.9%	31.7%	87.7%	59.8%	87.2%
だいたい当てはまる	39.1%	27.6%	29.7%	32.1%	13.1%	56.0%	12.3%	27.4%	87.2%
あまり当てはまらない	6.0%	10.5%	13.6%	10.0%	0.4%	9.1%	12.3%	12.4%	12.8%
当てはまらない	3.0%	1.9%	4.2%	3.0%	0.4%	3.2%	12.3%	0.4%	12.8%
								23.8%	89.1%
								62.9%	88.6%
								42.9%	93.7%
								25.7%	50.8%
								11.4%	6.3%
								0.0%	0.0%

(8) [学校行事] 有意義な学校行事がある

項目	1年	2年	3年	生徒計	昨年度	保護者計	昨年度	職員計	昨年度
よく当てはまる	50.4%	58.1%	59.3%	55.9%	87.3%	36.7%	91.5%	55.6%	88.9%
だいたい当てはまる	42.1%	24.8%	27.1%	31.3%	12.7%	54.8%	8.5%	33.3%	88.9%
あまり当てはまらない	4.5%	14.3%	8.5%	9.1%	1.6%	6.9%	8.5%	10.3%	11.1%
当てはまらない	3.0%	2.9%	5.1%	3.6%	0.9%	1.6%	8.5%	0.9%	11.1%
								33.0%	89.5%
								68.6%	94.3%
								38.7%	96.8%
								25.7%	58.1%
								5.7%	3.2%
								0.0%	0.0%

(9) [特色ある学校づくり①] インターンシップや企業見学などの地域の人と関わる機会を多く取り入れている

項目	1年			2年			3年			生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
よく当てはまる	49.6%	55.2%	52.5%	52.5%	92.5%	41.3%	95.2%	52.6%	92.3%	38.8%	90.8%	60.0%	94.3%	38.1%	93.7%						
だいたい当てはまる	41.4%	39.0%	39.8%	40.1%	92.5%	53.9%	95.2%	39.7%	92.3%	52.0%	90.8%	34.3%	94.3%	55.6%	93.7%						
あまり当てはまらない	6.8%	4.8%	6.8%	6.1%	7.5%	4.0%	4.8%	7.3%	7.7%	8.5%	9.2%	4.3%	5.7%	4.8%	6.3%						
当てはまらない	2.3%	1.0%	0.8%	1.4%	7.5%	0.8%	4.8%	0.4%	7.7%	0.7%	9.2%	1.4%	5.7%	1.6%	6.3%						

(10) [特色ある学校づくり②] 専門性を生かすなど特色ある学校づくりに取り組んでいる

項目	1年			2年			3年			生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
よく当てはまる	39.8%	56.2%	42.4%	46.1%	97.1%	49.2%	97.6%	48.9%	94.4%	44.7%	95.6%	52.9%	97.1%	55.6%	98.4%						
だいたい当てはまる	58.6%	41.0%	53.4%	51.0%	97.1%	48.4%	97.6%	45.5%	94.4%	50.9%	95.6%	44.3%	97.1%	42.9%	98.4%						
あまり当てはまらない	0.8%	2.9%	3.4%	2.3%	2.9%	1.6%	2.4%	5.2%	5.6%	4.1%	4.4%	2.9%	2.9%	1.6%	1.6%						
当てはまらない	0.8%	0.0%	0.8%	0.5%	2.9%	0.8%	2.4%	0.4%	5.6%	0.3%	4.4%	0.0%	2.9%	0.0%	1.6%						

(11) [防災教育] 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている

項目	1年			2年			3年			生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
よく当てはまる	47.4%	59.0%	51.7%	52.7%	91.5%	41.4%	95.7%	60.3%	86.3%	23.2%	84.3%	65.7%	95.7%	42.9%	98.4%						
だいたい当てはまる	45.1%	32.4%	39.0%	38.8%	91.5%	54.3%	95.7%	26.1%	86.3%	61.1%	84.3%	30.0%	95.7%	55.6%	98.4%						
あまり当てはまらない	5.3%	7.6%	5.9%	6.3%	8.5%	3.5%	4.3%	12.8%	13.7%	14.3%	15.7%	4.3%	4.3%	1.6%	1.6%						
当てはまらない	2.3%	1.0%	3.4%	2.2%	8.5%	0.8%	4.3%	0.9%	13.7%	1.4%	15.7%	0.0%	4.3%	0.0%	1.6%						

(12) [開かれた学校づくり] 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている

項目	1年			2年			3年			生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
よく当てはまる	48.1%	58.1%	53.4%	53.2%	94.3%	38.7%	95.7%	53.4%	92.7%	39.8%	88.4%	54.3%	100.0%	46.0%	95.2%						
だいたい当てはまる	48.9%	36.2%	38.1%	41.1%	94.3%	57.1%	95.7%	39.3%	92.7%	48.6%	88.4%	45.7%	100.0%	49.2%	95.2%						
あまり当てはまらない	1.5%	4.8%	7.6%	4.6%	5.7%	3.2%	4.3%	6.4%	7.3%	9.5%	11.6%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%						
当てはまらない	1.5%	1.0%	0.8%	1.1%	5.7%	1.1%	4.3%	0.9%	7.3%	2.0%	11.6%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%						

(13) [施設整備] 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている

項目	1年			2年			3年			生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
よく当てはまる	39.1%	57.1%	55.1%	50.4%	92.8%	41.6%	96.2%	54.3%	89.7%	38.2%	91.1%	55.7%	85.7%	42.9%	93.7%						
だいたい当てはまる	56.4%	34.3%	36.4%	42.4%	92.8%	54.7%	96.2%	35.5%	89.7%	52.9%	91.1%	30.0%	85.7%	50.8%	93.7%						
あまり当てはまらない	3.0%	7.6%	5.1%	5.2%	7.2%	2.1%	3.8%	7.7%	10.3%	6.5%	8.9%	12.9%	14.3%	1.6%	6.3%						
当てはまらない	1.5%	1.0%	3.4%	1.9%	7.2%	1.6%	3.8%	2.6%	10.3%	2.4%	8.9%	1.4%	14.3%	4.8%	6.3%						

(14) [いじめ問題] 日頃から、いじめの実態把握や早期発見に取り組んでいる

項目	1年			2年			3年			生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
よく当てはまる	57.9%	63.8%	60.2%	60.6%	84.3%	32.9%	84.8%	54.3%	70.1%	16.4%	71.2%	62.9%	98.6%	49.2%	98.4%						
だいたい当てはまる	27.8%	22.9%	20.3%	23.7%	84.3%	51.9%	84.8%	15.8%	70.1%	54.8%	71.2%	35.7%	98.6%	49.2%	98.4%						
あまり当てはまらない	12.0%	10.5%	13.6%	12.0%	15.7%	12.3%	15.2%	26.9%	29.9%	24.7%	28.8%	1.4%	1.4%	1.6%	1.6%						
当てはまらない	2.3%	2.9%	5.9%	3.7%	15.7%	2.9%	15.2%	3.0%	29.9%	4.1%	28.8%	0.0%	1.4%	0.0%	1.6%						

(15) [環境美化] 環境美化に取り組んでいる

項目	1年			2年			3年			生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
よく当てはまる	55.6%	61.0%	55.9%	57.5%	84.4%	29.8%	88.5%	61.5%	91.5%	29.0%	89.4%	65.7%	91.4%	38.1%	93.7%						
だいたい当てはまる	34.6%	24.8%	21.2%	26.8%	84.4%	58.7%	88.5%	29.9%	91.5%	60.4%	89.4%	25.7%	91.4%	55.6%	93.7%						
あまり当てはまらない	7.5%	12.4%	16.9%	12.3%	15.6%	8.3%	11.5%	8.5%	8.5%	9.9%	10.6%	7.1%	8.6%	6.3%	6.3%						
当てはまらない	2.3%	1.9%	5.9%	3.4%	15.6%	3.2%	11.5%	0.0%	8.5%	0.7%	10.6%	1.4%	8.6%	0.0%	6.3%						

(16) [総合満足度] 学校生活は充実している

項目	1年			2年			3年			生徒計		昨年度		保護者計		昨年度	
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合
よく当てはまる	51.1%	52.4%	52.5%	52.0%	87.8%	37.3%	90.6%	56.4%	91.5%	37.4%	89.1%						
だいたい当てはまる	43.6%	31.4%	32.2%	35.7%	87.8%	53.4%	90.6%	35.0%	91.5%	51.7%	89.1%						
あまり当てはまらない	1.5%	12.4%	8.5%	7.5%	12.2%	6.7%	9.4%	7.3%	8.5%	8.8%	10.9%						
当てはまらない	3.8%	3.8%	6.8%	4.8%	12.2%	2.7%	9.4%	1.3%	8.5%	2.0%	10.9%						

4 総合的な考察

令和6年度と比較して、生徒の肯定的な評価は全体的に低下しているものの、それでも85パーセント以上の水準を示している。保護者については、昨年度より肯定的な評価が上っている項目が多い。一方、(4)進路指導、(6)部活動、(7)生徒会活動、(8)学校行事、(10)特色ある学校づくり、(13)施設設備、(14)いじめ問題の各項目では、生徒、保護者ともに昨年度を下回っており、改善の余地が見られる結果となった。保護者や地域に対し、専門教育の成果や生徒の成長の様子を、ホームページ、各種説明会等をおして積極的に発信し、本校の特色や強みがより具体的に伝わるよう努力していく必要があると考える。

5 調査内容ごとの分析と改善に向けた取り組み

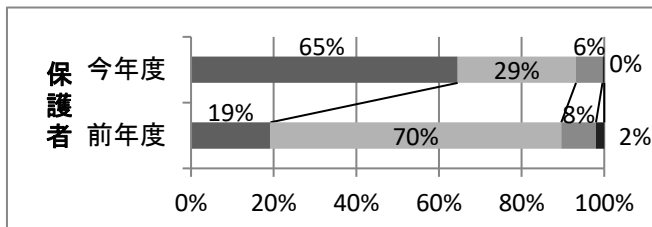
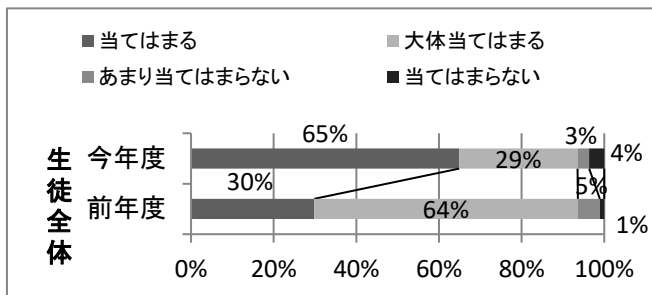
(1) 「教育課程」学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている

【分析】

生徒の肯定的評価は93.4%(昨年度93.6%)と、引き続き非常に高い水準を維持している。昨年度とほぼ同等であり、スクールポリシーに基づく教育活動が生徒に十分認識され、日常の授業や学校生活をとおして一貫性をもって実践されていることがうかがえる。一方、保護者の肯定的評価は93.2%と、昨年度の89.6%から大きく向上しており、本校の教育方針や教育課程に対する理解が一層深まっていると考えられる。これはホームページ、説明会等を通じた情報発信の充実や、教育活動の「見える化」が一定の成果を上げた結果と捉えられる。

【改善に向けた取り組み】

生徒に対しては、学年集会やホームルーム、キャリア教育等の機会をとおして、スクールポリシーと日々の学習・行事・進路指導との関連を具体的に説明し、自らの成長と結び付けて理解できるようにする。保護者に対しては、ホームページ等で継続的に発信し、学校の教育活動への理解をさらに深める。教職員間でスクールポリシーを改めて共有し、授業改善や学校行事の企画・運営において、どのようにスクールポリシーが具現化されているかを意識的に振り返る機会を設ける。



(2) 「学習指導」学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている

<分析>

●肯定的意見(当てはまる+大体当てはまる)の割合の推移(昨年度→今年度)

- ・生徒：91.2% → 88.0%
- ・保護者：83.3% → 83.8%
- ・職員：90.3% → 98.6%

肯定的意見の割合は、前年度と比較し数%の増減はあるが、いずれの対象においても80%を超える高い値を維持しており、調査対象者の多くが本校の学習指導について肯定的に捉えていると考えられる。この要因として、各教科でICT機器を活用した生徒の学ぶ意欲を引き出す取組が進んでいることや、タブレット端末を家庭学習で活用している様子を保護者が目にする機会が増加したことも要因であると考えられる。

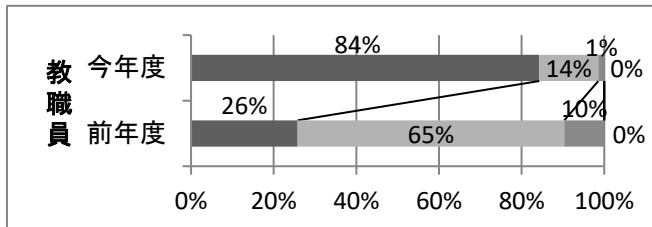
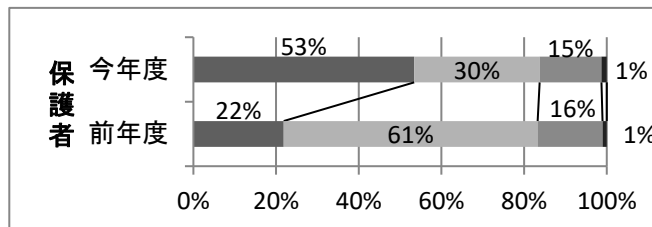
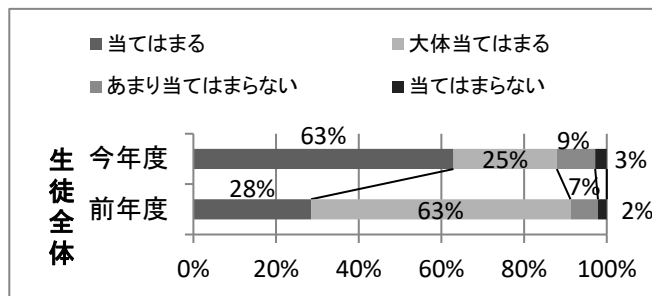
特に職員においては、授業におけるタブレット端末の活用が浸透し、教材研究にも意欲的に取り組む様子が伺え、授業の質の高まりに関する手ごたえが高い評価につながったものと思われる。一方で、生徒の学習理解度や学習意欲に差があり、授業の進度や評価の目標設定、指導方法に苦慮する様子も見られるが、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて尽力している。

<改善に向けた取り組み>

今年度は、1日体験入学や学校説明会、学校公開週間及び公開研究授業等を実施し、本校の取組や魅力を発信することができた。

また、タブレット端末の活用状況や生徒の学力の現状を踏まえ、学習支援アプリの変更について検討を行い、基礎学力の定着と家庭学習の習慣化に向けて取り組んでいる。

その他にも、出前授業や各種のイベントやコンテスト等、資格試験や検定試験等を通じて生徒の活躍する場面も増えており、校内委員会等でこれまでの取組に対する反省点や改善点について協議しながら、生徒の自己肯定感の高まりを学習意欲の向上につなげていきたい。



(3) 「生徒指導」挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている

<分析>

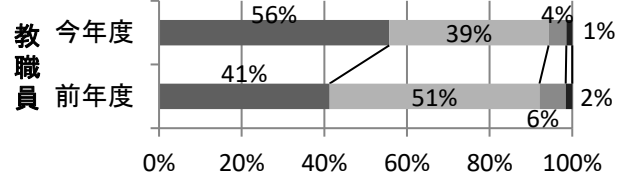
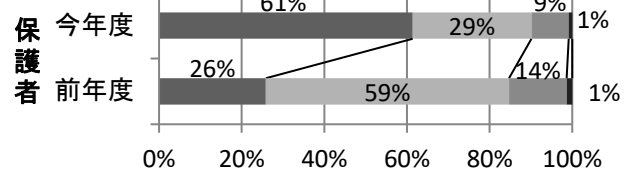
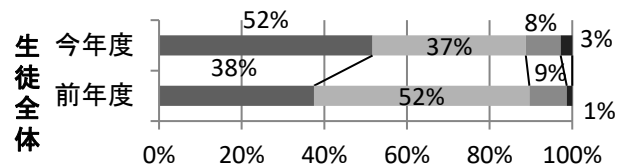
生徒・保護者・教職員のいずれの立場からも肯定的な回答が多く寄せられており、本校の生徒指導に関する取組は、全体として概ね高い評価を得ているものと受け止めている。登米総STDの確立に向け、「愛」をスローガンとした指導方針のもと、生徒一人ひとりを大切にしながら、規範意識と基本的な生活習慣の定着を目指した取組を継続して実施してきた。具体的には、全教職員が輪番制で遅刻指導に当たる体制を整えるとともに、生徒指導部と教職員が連携した朝の昇降口での立ち番指導を継続的にを行い、登校時における生徒への声かけや見守りを通して、規則正しい生活リズムの確立を図ってきた。加えて、学年ごとの昼休み巡視を計画的に実施し、校内での生徒の様子を丁寧に把握することで、問題行動の未然防止や早期対応に努めてきた。

さらに、各学科が連携し、共通理解のもとで指導に当たる体制を構築したことにより、指導内容や指導基準の統一が進み、教職員間の連携も一層深まっている。これらの取組が積み重なった結果、生徒の生活態度や学校生活に対する意識の向上が見られ、昨年度と比較して特別指導の件数および対象となった生徒数はいずれも減少しており、指導の成果が着実に表れていると考えられる。

<改善に向けた取組>

今後も、これまで継続してきた全教職員による朝の昇降口指導を生徒指導の柱として位置付け、日々の教育活動の様々な場面において、粘り強く指導を積み重ねていく必要がある。また、生徒の行動が一過性のものにとどまらないよう、基本的な生活習慣の定着を長期的な視点で捉え、継続的な指導と支援を行っていくことが重要である。そのためには、各学科および学年がより一層連携を深め、情報共有を密にしながら、生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導を行っていくことが求められる。生徒が自ら見通しをもって行動し、主体的に学校生活を送ることができるよう、日常的な声かけや支援を通して、生徒の成長を継続的に支えていく。

■ 当てはまる ■ 大体当てはまる
■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない



(4) 「進路指導」進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている

<分析>

- ・生徒: 95.7% → 94.0%
- ・保護者: 85.0% → 82.8%
- ・教職員: 93.7% → 97.1%

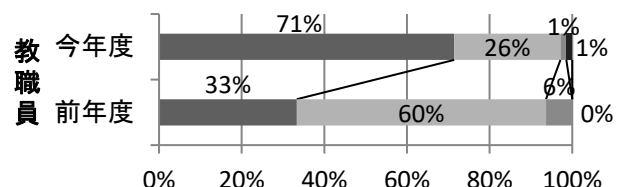
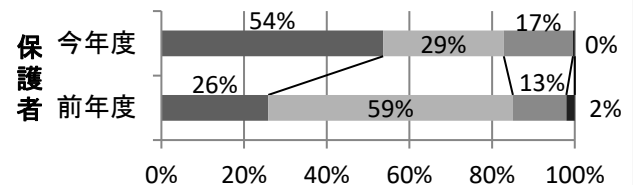
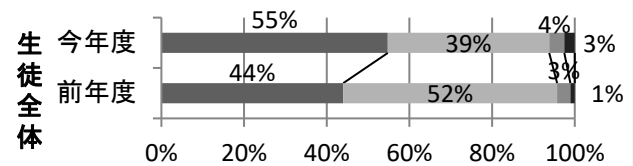
上記の結果から、本校の進路指導については、生徒・保護者・教職員のいずれからも概ね高い評価を得ていると考えられる。これは、各部・各学科・各学年・各教科において、日常の学習活動の中で常に進路を意識した指導を継続して行ってきたことに加え、各種進路行事の実施が、生徒一人ひとりの進路目標の明確化につながっているためであると考えられる。

また、進路行事に限らず、日々の高校生活のさまざまな場面において進路意識を高める働きかけを行ってきたことが、生徒の主体的な進路選択を支えるとともに、保護者に対しても本校の進路指導への理解と協力を得る一因となっていると考えられる。今後も、生徒の進路意識の向上や目標の明確化を支援するため、計画的かつ継続的な進路活動および進路情報の発信に取り組んでいきたい。

<改善に向けた取り組み>

- ・各学年の就職・進学担当を明確にし、進路行事の実施内容について学年との連絡調整を密に行うことで、よりきめ細やかな指導や実施内容の充実を図る。
- ・各部・各学科・各学年・各教科との連携を一層強化し、生徒の進路選択から進路達成に至るまで、適切で一貫性のある指導体制や流れとなるよう改善を進める。
- ・進路指導室の定期的な環境整備を行い、企業・上級学校等に関する情報提供のさらなる充実を図る。
- ・生徒および保護者に対して進路指導室の開放・活用を促すとともに、進路情報の積極的な発信に努める。
- ・進路指導の内容について十分な振り返りを行い、行事や模擬試験等を含めた年間計画の見直しを行う。

■ 当てはまる ■ 大体当てはまる
■ あまり当てはまらない ■ 当てはまらない



(5) [教育相談] 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている

【分析】
 肯定的回答
 ・生徒: 92.8%→「90.4%」
 ・保護者: 82.7%→「83.7%」
 ・教職員: 100%→「98.6%」
 本校の教育相談体制については、生徒・保護者・職員のいずれも概ね肯定的に受け止められており、先生方の日頃の相談対応やSC・SSWの活用につながることで、一定の安心感に繋がっている様子がうかがえる。

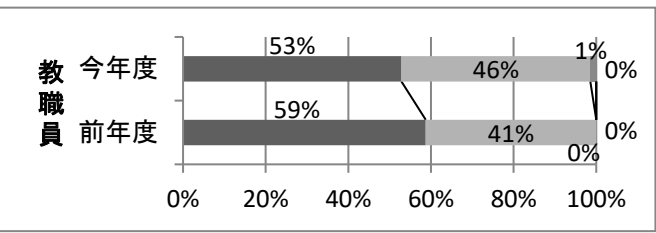
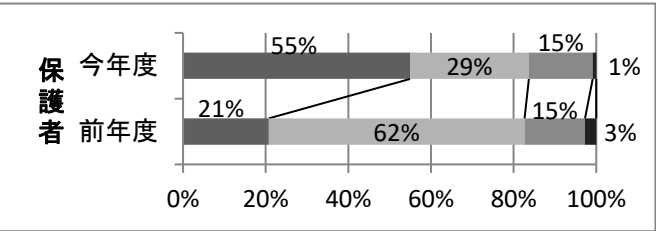
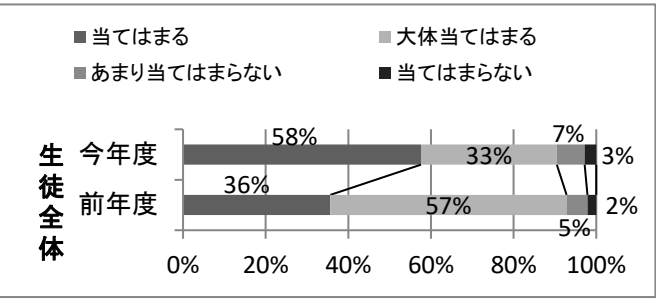
《生徒の評価について》
 肯定的回答は、高水準を維持しているものの、昨年度からわずかな低下がみられている。評価の背景には、相談のしやすさを実感できる層と、発達上の特性等により、悩みを抱えていても言葉にすることが難しい生徒や、「そこまでは」と感じ、相談そのものをためらう生徒の存在も考えられる。

《保護者の評価について》
 肯定的回答は、微増しているが、生徒・職員との評価の差は、昨年同様継続的にみられている。

今年度、保護者のSC・SSWの活用は、1月現在までで計3件(2名)である。専門職につながる安心感を得られた事例も見られた一方で、相談窓口や支援の流れが十分に伝わっていない家庭があることも課題として考えられる。また、SC(SSW)へのカウンセリング、相談に対して「敷居が高い」と感じ、利用に踏み出せない保護者も一定数いる可能性も否定できない。

《職員の評価について》
 肯定的回答が98.6%と高い水準にあることは、「必要な相談に応じよう」という共通認識が校内に根付いている証であり、生徒の継続的なSC(必要に応じてSSW)の活用にも繋がっている。

【改善に向けた今後の取り組み】
 ・面談や通信(メール配信含め)、行事等を通じて、保護者向けにもSC・SSWの役割、相談方法について、具体的かつ継続的に発信していく必要がある。
 ・発達上の特性がある生徒に対しては、特性に応じた個別の対応を実施し、安心して相談相手や方法を選べる体制を整えていきたい。
 ・相談体制が「整っている」だけでなく、「自然に相談している」形になるよう、全職員で必要な相談に繋がるまで切れ目なく情報共有を行う意識が必要で



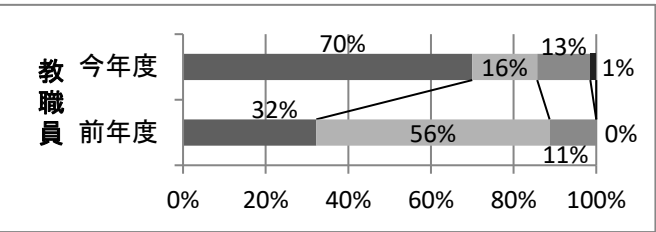
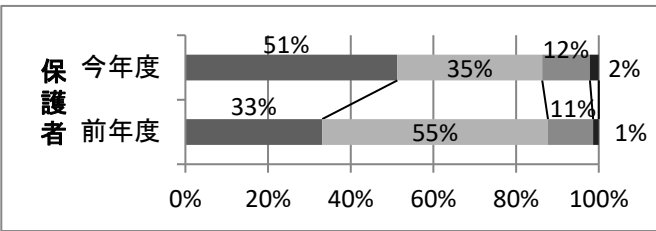
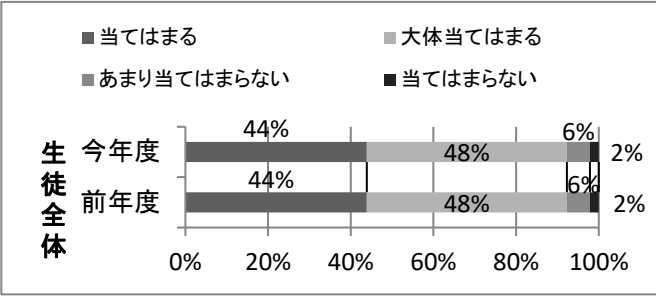
(6) [部活動] 部活動は活発に行われている

<分析>
 本項目における肯定的回答は、生徒・保護者・教職員のいずれの立場から見ても高い評価結果となった。今年度は、運動部・文化部ともに加入率が減少傾向にあるものの、各部活動においては、部の特性や活動目的に応じた工夫を重ねながら、充実した活動が展開されてきた。運動部においては、少人数での活動となる部が多い中でも、生徒一人ひとりの技能や体力、意欲に応じた指導が行われ、基礎基本の定着や安全面への配慮を重視した練習が継続された。文化部においても、生徒の興味・関心を大切にしながら、創作活動や研究活動、発表の機会を通して達成感を得られるような活動内容が工夫されてきた。

顧問は、生徒の主体性を尊重しつつ、活動計画や指導方法の改善に努め、部活動を通じた人間関係の構築や自己肯定感の育成を意識した指導を行ってきた。その結果、生徒が部活動に前向きに取り組む姿勢が育まれ、活動に対する満足度や継続意欲の向上につながり、今回の高い評価に反映されたものと考えられる。

<改善に向けた取り組み>
 今後は、運動部・文化部双方の活動の意義や魅力をより積極的に発信し、部活動への参加を促すことで、加入率の向上を目指す。そのために、各部活動の活動状況や成果、生徒のニーズを踏まえながら、部活動数や部費の配分について検討を行い、運動部・文化部ともにバランスの取れた部活動運営を進めていく。

また、部活動を通して身に付く協調性、責任感、継続して努力する力、表現力や創造力といった人間的成長について、部活動紹介や体験入部、校外での発表の機会を通して分かりやすく伝えていく。あわせて、生徒会による全体的な呼び掛けや、各部活動の部員による体験活動・勧誘活動を部活動登録期間まで継続的に実施し、生徒主体の取組を充実させることで、運動部・文化部を含めた部活動全体のさらなる活性化を図っていく。



(7) [生徒会活動] 生徒会活動は活発に行われている

<分析>

生徒会活動については、肯定的な評価が80%を超えており、多くの生徒や保護者、関係者から高い評価を得ることができた。これは、生徒会役員を中心に、生徒一人一人が自分の役割を意識しながら主体的に活動に取り組んだ結果であり、日頃の活動の様子や努力が十分に伝わったことによるものと考えられる。

特に、産業祭初日に実施した打ち上げ花火は、来場者に強い印象を与え、地域住民からも好意的な意見が多く寄せられた。学校行事を通して地域とのつながりを深める貴重な機会となり、学校の魅力発信にも大きく寄与した。

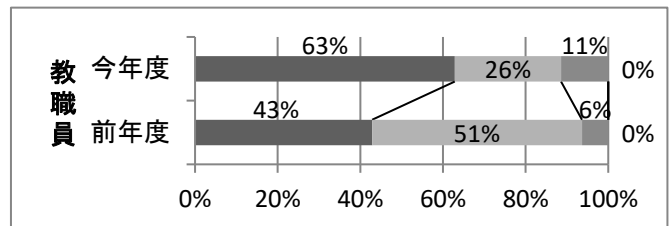
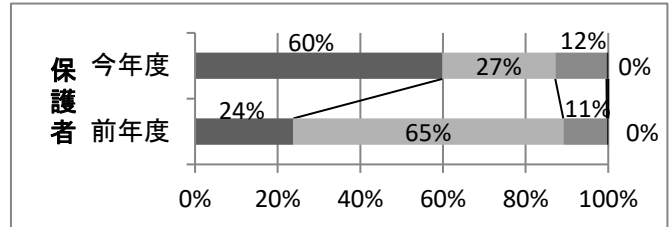
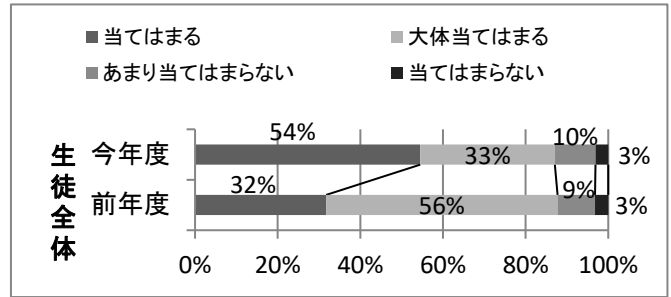
また、一般公開については、コロナ禍以降3年目を迎え、感染対策を踏まえつつも制限を緩和した形で実施することができた。その結果、来場者数の増加や企画内容の充実が図られ、以前の活気を取り戻した盛大な行事となった。

さらに、各種委員会活動においても、年間計画に基づき継続的かつ意欲的な活動が行われ、生徒が自ら課題を見つけ、協力しながら解決に取り組む姿が多く見られた。これらの活動を通して、生徒の責任感や協調性、主体性の育成につながったと考えられる。

<改善に向けた取り組み>

今後は、生徒会執行部が中心となり、生徒の意見や要望をより積極的に取り入れながら、各種行事や委員会活動の企画・運営を進めていく。その際、事前の話し合いや振り返りの機会を充実させることで、活動の目的や成果を明確にし、生徒自身が成長を実感できるようにする。

また、生徒主体の活動をさらに推進するため、役割分担の工夫や情報共有の方法を改善し、より多くの生徒が活動に関わる機会を確保する。これにより、生徒一人一人の達成感ややりがいを高めるとともに、学校全体として自治的活動の質の向上を図っていく。



(8) [学校行事] 有意義な学校行事がある

<分析>

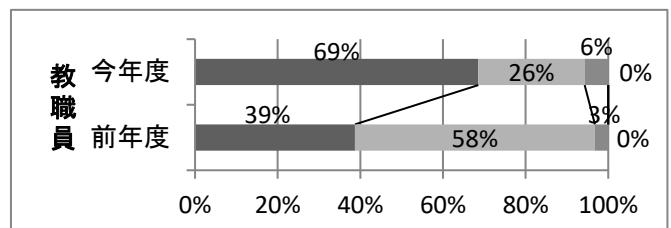
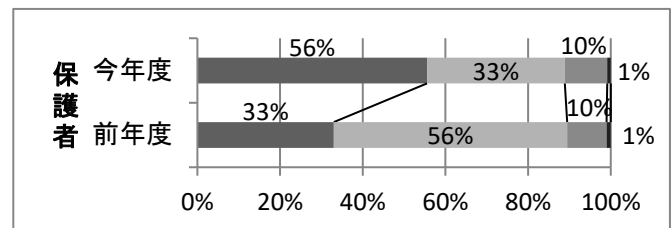
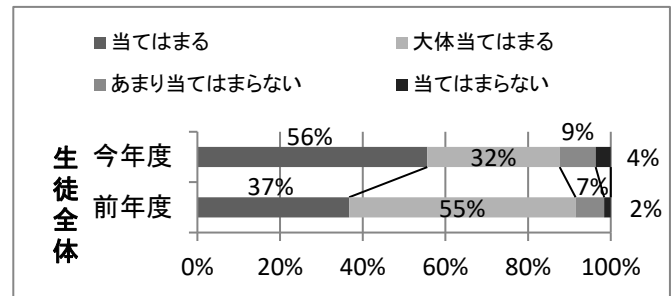
生徒および教職員の双方から肯定的な回答が多く寄せられ、本項目については総じて高い評価を得ることができた。その要因として、スポーツ大会、産業祭の一般公開、修学旅行などの学校行事において、生徒が企画段階から運営に至るまで主体的に関わり、自らの役割と責任を意識しながら活動したことが挙げられる。これらの行事を通して、生徒は協働することの大切さを学ぶとともに、互いを尊重し合う態度を身に付けることができたと考えられる。

また、仲間と目標に向かって取り組む経験を重ねることで、望ましい人間関係の形成が促進され、集団の一員としての自覚や所属感、連帯感を深める貴重な機会となった。これらの成果が、生徒・教職員双方の高評価につながったものと考察できる。

<改善に向けた取り組み>

今後は、これまでの成果を踏まえつつ、生徒がより一層主体的に考え、行動できるような活動内容の工夫や、それを支える環境づくりを計画的に進めていきたい。そのために、生徒の意見や発想を積極的に取り入れ、達成感や成長を実感できる学校行事の在り方を検討していく。

また、保護者に対しては、学校行事の目的や教育的意義、参加することの価値について丁寧に説明するとともに、事前に意見を伺う機会を設けることで、相互理解を深めていきたい。こうした取り組みを通して、学校・家庭が連携しながら、生徒の主体性と社会性を育成できる学校行事の充実を図っていく。



(9) [特色ある学校づくり①]

インターンシップや企業見学などの地域の人と関わる機会を多く取り入れている

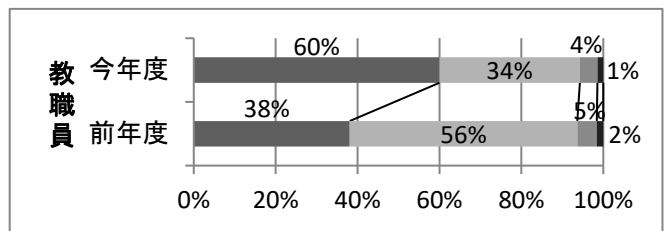
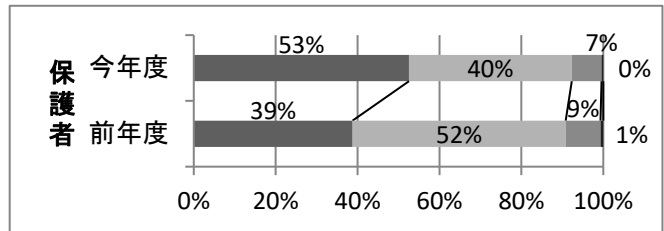
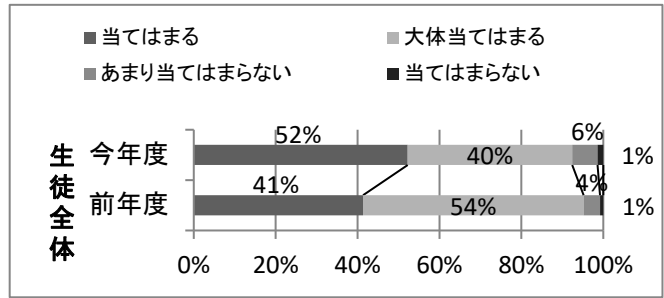
<分析>

肯定的意見の割合の数値

今年度の肯定は生徒92.5%、保護者92.3%、教職員94.3%と、いずれも9割超で高水準であった。保護者・教職員は上向きで、地域の方と関わる学習の価値が一層共有されつつあり。生徒も高評価で、取組の定着がうかがえる。

<改善に向けた取り組み>

肯定的評価が高く、特にインターンシップや企業見学などを最も積極的に行った2学年での「よく当てはまる」評価が見られる。職員の様々な活動を生徒保護者に理解していただくために、学校だよりやホームページやの活用をはじめ、一斉メールの送信や報道機関に取り上げていただくなど学校からの効果的な発信の方法を検討し、さらに高水準を維持・微増など確実に積み上げていきたい。



(10) [特色ある学校づくり②] 専門性を生かすなど特色ある学校づくりに取り組んでいる

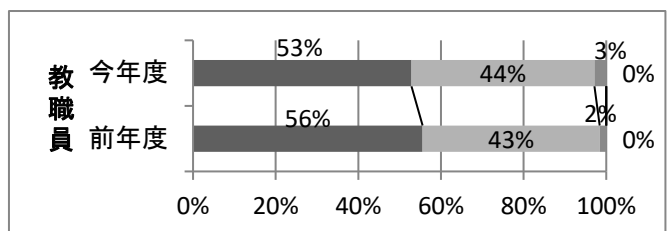
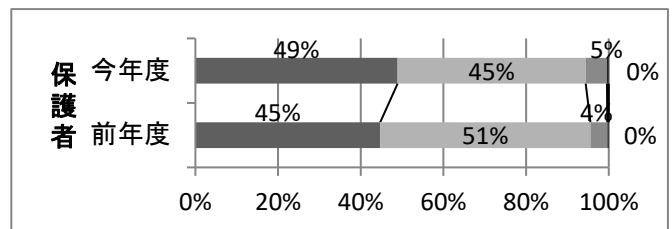
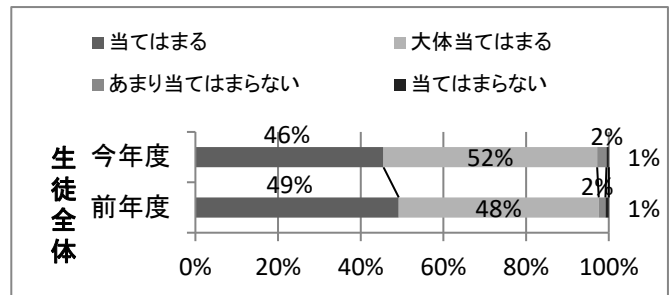
<分析>

生徒の肯定的評価は97.1%(昨年度97.6%)と、非常に高い水準を維持している。昨年度からわずかに減少しているものの、引き続き多くの生徒が本校の専門性を生かした教育活動や特色ある取り組みを実感しており、日常の授業や実習、行事等が効果的に機能していることがうかがえる。保護者の肯定的評価は94.4%(昨年度95.6%)であり、依然として高い評価を得ているが、前年差ではやや低下している。

このことから、本校の特色ある教育活動自体は評価されているものの、そのねらいや成果が十分に伝わっていない部分がある可能性が考えられる。また、職員の肯定的評価は97.1%(昨年度98.4%)と高水準を維持しているが、こちらも微減している。これは、教育活動の充実に向けた取組が進む一方で、業務負担の増加や改善の余地に対する課題意識が高まっていることの表れとも考えられる。

<改善に向けた取り組み>

各学科・分掌において、専門性を生かした授業内容や実習の成果を検証し、社会や産業界の変化に対応した内容への更新や改善を継続的に行う。保護者や地域に対し、専門教育の成果や生徒の成長の様子を、ホームページ、説明会等とおして積極的に発信し、本校の特色や強みがより具体的に伝わるよう工夫する。校内研修や外部研修への参加をとおして教職員の専門性をさらに高めるとともに、学科・分掌を越えた情報共有や連携を促進し、学校全体として特色ある教育活動を推進する。



(11) [防災教育] 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている

<分析>

1. 肯定的意見の割合の推移 (R5→R6→ R7)

- ・生徒: 94.2% → 95.7% → **91.5%**
- ・保護者: 82.1% → 84.3% → **86.3%**
- ・教職員: 98.7% → 98.4% → **95.7%**

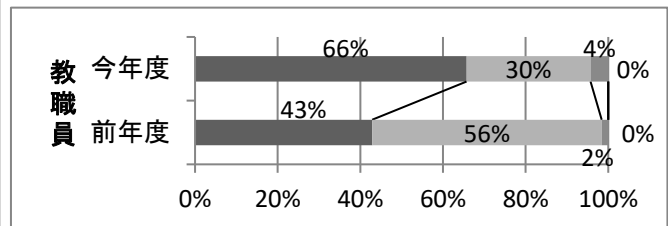
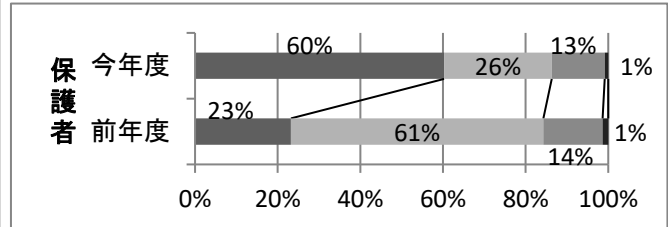
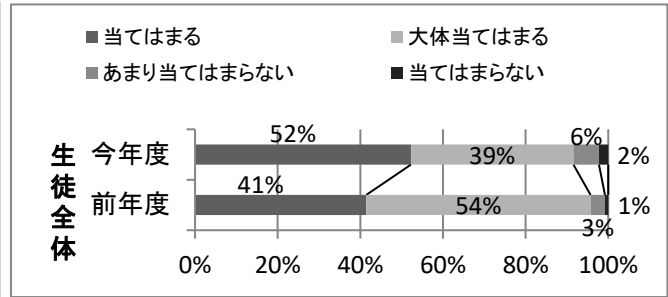
2. 肯定的な意見(よく当てはまる+だいたい当てはまる)全体の割合が少し下降したが、内訳では、「よく当てはまる」の割合が昨年度より、71.3ポイントも上昇しており、肯定的な意見が以前、高評価を維持し続けている

<要因>

1. 生徒防災委員会を定期的に開催し、防災委員生徒から、避難訓練の事前指導として、避難時の注意点や防災知識、クマ被害防止、北海道・三陸沖後発地震注意情報等を含む地域での防災情報の提供と意識付け等の啓蒙活動を行ってきたこと。
2. 教室内の避難経路標示、防火扉の標示等、防災に関しての環境整備を行ったこと。

<改善に向けた取り組み>

1. 引き続き、適切な情報提供・情報発信により、防災意識の向上に努めたい。
2. 今年度は、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」により、大災害(震度5強以上等)を想定した生徒安否確認方法を再確認し、練習を実施した。来年度以降、避難訓練等に取り入れる等、非常時の避難方法や連絡方法の意識付けを行っていききたい。
3. 昨年度に引き続き今年度も市内3校(佐沼、登米、登米総)と市防災担当者との情報交換を行い、避難所開設方法等の確認や地域連携について、課題の共有と連携方法について模索していきたい。



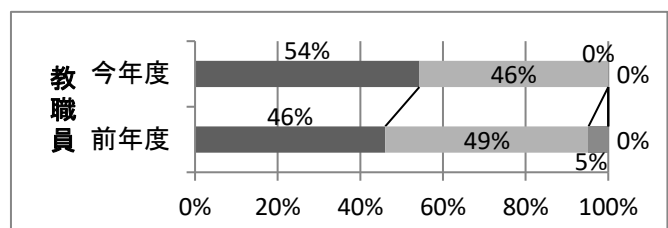
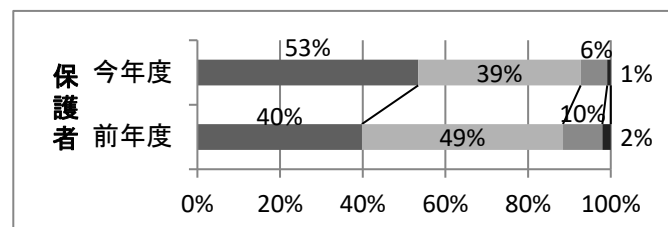
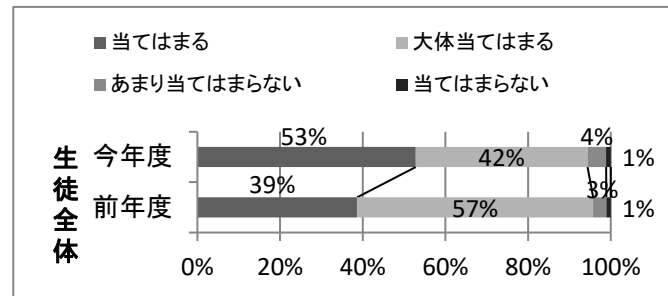
(12) [開かれた学校づくり] 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている

<分析>

生徒の肯定的評価は94.3%(昨年度95.7%)と、依然として高い水準を維持しているものの、昨年度からはやや低下している。これは、生徒にとって必要な情報が多様化・高度化する中で、情報の内容や伝え方が十分に届いていない場面が一部ある可能性を示唆している。一方、保護者の肯定的評価は92.7%(昨年度88.4%)と大きく向上しており、ホームページ等を通じた情報発信が、保護者にとって分かりやすく、適切なものとして受け止められていることがうかがえる。これは、情報発信の頻度や内容の充実、表現方法の工夫などが一定の成果を上げた結果と考えられる。また、職員の肯定的評価は100%(昨年度95.2%)となっており、校内においても情報共有が十分に行われ、学校全体として共通理解が図られていることが明らかである。

<改善に向けた取り組み>

ホームページや配信システム等を活用し、情報の性質に応じて適切な媒体を選択することで、受け手にとって見やすく、受け取りやすい情報発信を行う。引き続き、学校行事や教育活動のねらい・成果が伝わる内容を意識し、保護者が学校の取組を具体的にイメージできるような情報提供を行う。職員間の情報共有については、現在の良好な状況を維持するとともに、必要に応じて情報伝達の方法やタイミングを見直し、より円滑な連携を図る。



(13) [施設整備] 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている

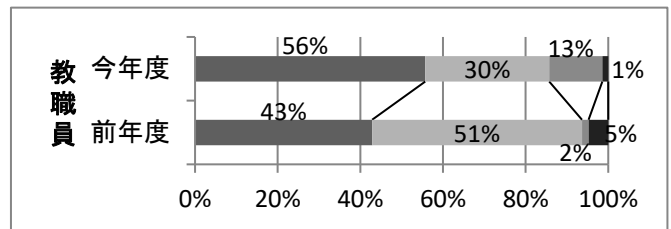
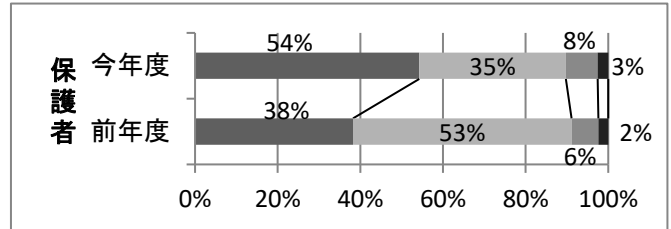
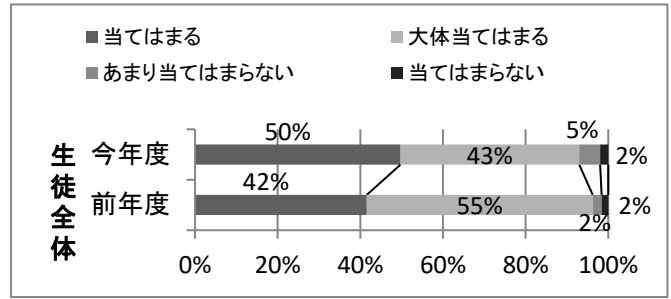
<分析>

今年度は、依然として高水準ではあるものの、保護者・職員ともに90%を下回る結果となった。この状況を考察すると、設置から10年を経過しており、経年劣化や使用回数により生じた美観的なもの、設備(機器)の故障や更新による一時的な障害による不便などが主な理由であると推察される。しかしながら、設備的にはエアコンの設置や熱中症対策として教室における空調機器の登校前からの起動、各所から要望が挙げられた箇所の委託業務や修繕、改修等を着実に実施し向上していると考えられることから、俯瞰してみるに開校当初より設備的に後退しているとは捉えがたい。

また、職員からの評価が5%ほどマイナス評価に傾いているが、定例の安全点検結果をもとにした修理、職員からの施設に関する要望の実現なども可能な限り対処していることから、より便利で快適さを求める部分不満点となりマイナスに傾いたものと考えられる。この点に関しては、学校が公共物である以上、『安心・安全』が最優先で『便利・快適・自由に』の完全な実現は困難であるが、要望を真摯に捉え、粘り強く継続して努力する必要があると考えている。

<改善に向けた取り組み>

- 施設の中長期的な維持管理のための設備改修及び授業で使用
する特別教室へのエアコン設置を優先に年次計画により環境整備
を進める。
- 保護者送迎用の駐車場は、限られた予算の範囲内で整地する
ことを検討する。
- 改修や改善したい箇所(野球グラウンド、テニスコート、アーチェリー
練習場等)や旧上沼高から使用している畜舎及び使用していない米
谷工業実習棟解体と課題は山積みとなっているが、財政担当や主
管課へのアプローチは、今後とも継続していく。



(14) [いじめ問題] 日頃から、いじめの実態把握や早期発見に取り組んでいる

<分析>

肯定的な回答は、生徒が84%、教職員が91%を超える結果となり、学校全体として比較的良好な状況にあることがうかがえる。一方で、保護者の肯定的回答については、昨年度と比較して低下している結果となった。この要因については、学校の取り組みが十分に伝わっていない可能性や、家庭から見えにくいいじめや人間関係への不安が影響していることも考えられる。今年度においても、いじめアンケート調査および生活アンケート調査を定期的に実施し、生徒の実態把握に努めるとともに、早期に事案を把握し、関係生徒への指導や支援を行うことで、問題の早期解消につなげてきた。これらの継続的な取り組みが、生徒および教職員の肯定的回答の高さとして表れているものと考えられる。

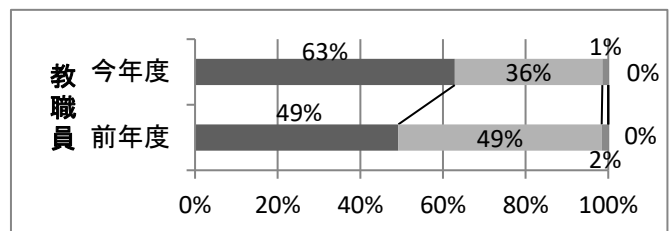
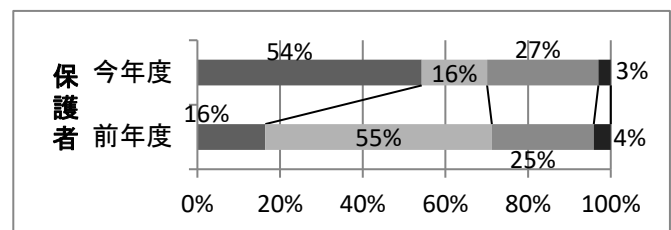
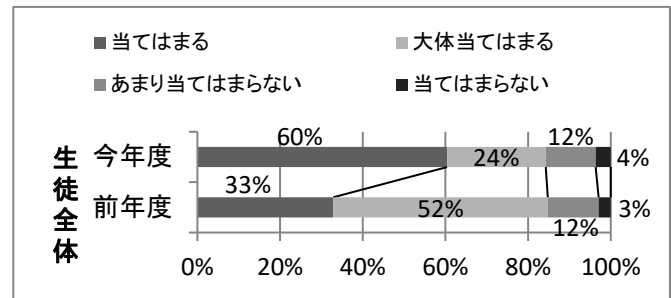
しかしながら、否定的な回答の中には、本人が言語化できていない不安や悩み、表面化していない人間関係上の小さなトラブルが潜在している可能性も否定できない。些細な事柄であっても放置することで深刻化する恐れがあるため、数値の結果だけにとらわれることなく、引き続き慎重な分析と対応が求められる。

<改善に向けた取り組み>

いじめへの対応においては、早期発見・早期対応を基本とし、未然防止の視点を常に意識することが重要である。そのためには、教職員が日常の教育活動を通して生徒一人一人の様子を丁寧に観察し、些細な変化や違和感を見逃さない姿勢が求められる。また、潜在的ないじめや人間関係の課題に対しても、積極的に声かけや面談を行い、生徒指導や支援につなげていくことが必要である。

近年、生徒が抱える問題は多様化しており、家庭環境や人間関係、SNS等を背景とした課題など、複雑かつ深刻化する傾向も見られる。こうした状況を踏まえ、今後も定期的に各種アンケート調査を実施し、継続的に実態把握を行っていくとともに、結果をもとにした具体的な指導・支援の在り方について校内で共有・検討していきたい。

あわせて、生徒が安心して悩みや不安を相談できる環境づくりを進めるとともに、相談窓口や相談方法の周知を図り、きめ細かな相談体制の充実に努めていく。今後も、全教職員が共通理解のもとで連携し、いじめの未然防止と早期解消に向けた取り組みを継続していきたい。



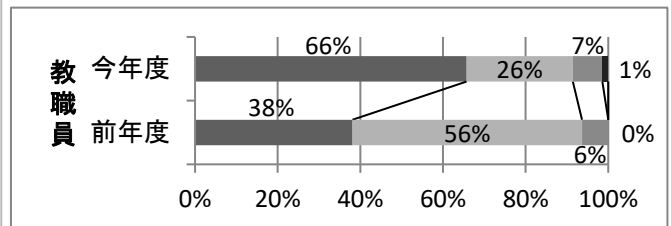
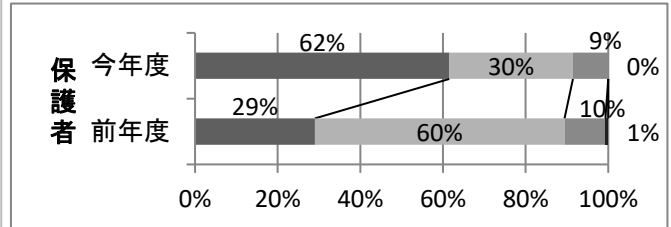
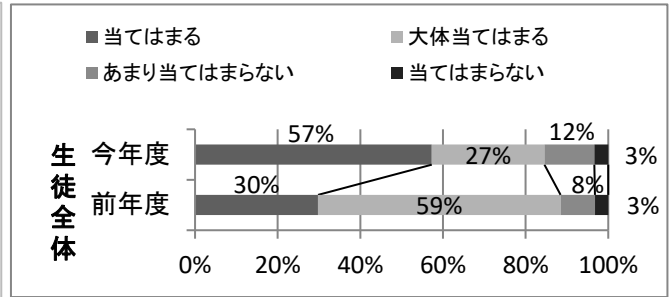
(15) [環境美化] 環境美化に取り組んでいる

<分析>

生徒・保護者・教職員のいずれの立場からも肯定的な回答が多く寄せられており、本校の環境美化の取り組みについて評価されている。生徒の回答において昨年よりマイナス4ポイントとなっている。多くのクラスは取り組み状況が良好であったが、一部の生徒は取り組み状況がよくないところが見受けられた。通常清掃、長期休業前の大掃除などでの取り組みがこの結果につながったのではないかと推察される。

<改善に向けた取組>

今後も、これまで継続してきた全教職員による清掃指導を徹底する。また取り組み状況の悪いクラスには、担任と情報を共有し全生徒で清掃に取り組めるよう声がけを徹底する。そして学校施設等を大切に使用する意識付けを行い、長くきれいな学校を保てるようにしたい。



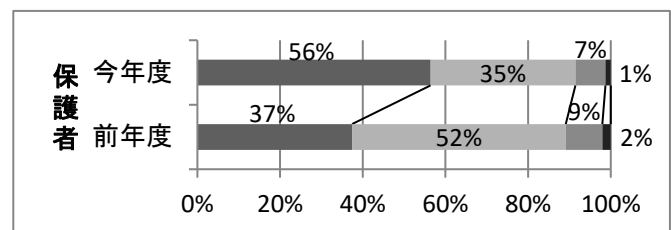
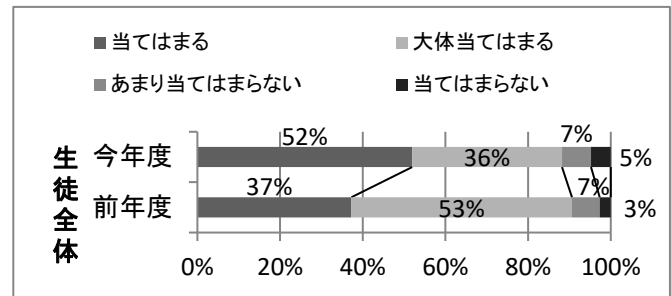
(16) [総合満足度] 学校生活は充実している

【分析】

生徒の肯定的評価は87.8%（昨年度90.6%）と、依然として高い水準ではあるものの、昨年度からはやや低下している。このことから、学習内容の高度化や学校生活における負担感、人間関係や行事への満足度など、生徒の学校生活に対する実感に個人差が生じている可能性が考えられる。一方、保護者の肯定的評価は91.5%（昨年度89.1%）と上昇しており、家庭から見て、生徒が比較的安定した学校生活を送り、一定の充実感を得ていると受け止められていることがうかがえる。この生徒と保護者の評価の差については、生徒自身が感じる日常の細かな悩みやストレスが、保護者には十分に伝わっていない可能性も考慮する必要がある。

【改善に向けた取組み】

学級活動や学校行事、部活動等とおして、生徒同士の関わりを深める機会を充実させるとともに、安心して過ごせる居場所づくりや相談体制の充実を図る。生徒の学校生活の様子や成長を適切に伝え、家庭と連携しながら、生徒一人一人の状況に応じた支援を行う。



6 結果データ

<生徒>

学年	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
1 学年	151	133	当てはまる	83	74	64	71	69	48	69	67	66	53	63	64	52	77	74	68	
			大体当てはまる	45	46	57	52	55	78	52	56	55	78	60	65	75	37	46	58	
		88.1%	あまり当てはまらない	3	9	9	7	6	3	8	6	9	1	7	2	4	16	10	2	
			当てはまらない	2	4	3	3	3	4	4	4	3	1	3	2	2	3	3	5	

学年	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
2 学年	158	105	当てはまる	71	72	61	64	68	58	63	61	58	59	62	61	60	67	64	55	
			大体当てはまる	27	24	35	37	29	41	29	26	41	43	34	38	36	24	26	33	
		66.5%	あまり当てはまらない	3	8	8	2	7	5	11	15	5	3	8	5	8	11	13	13	
			当てはまらない	4	1	1	2	1	1	2	3	1	0	1	1	1	3	2	4	

学年	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
3 学年	165	118	当てはまる	77	78	59	60	68	58	62	70	62	50	61	63	65	71	66	62	
			大体当てはまる	30	19	40	50	33	45	35	32	47	63	46	45	43	24	25	38	
		71.5%	あまり当てはまらない	4	16	13	4	11	8	16	10	8	4	7	9	6	16	20	10	
			当てはまらない	7	5	6	4	6	7	5	6	1	1	4	1	4	7	7	8	

生徒計	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
生徒計	474	356	当てはまる	231	224	184	195	205	164	194	198	186	162	186	188	177	215	204	185	
			大体当てはまる	102	89	132	139	117	164	116	114	143	184	140	148	154	85	97	129	
		75.1%	あまり当てはまらない	10	33	30	13	24	16	35	31	22	8	22	16	18	43	43	25	
			当てはまらない	13	10	10	9	10	12	11	13	5	2	8	4	7	13	12	17	

<保護者>

学年	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
1 学年	151	92	当てはまる	50	43	54	50	50	43	52	53	52	43	53	48	49	51	54	52	
			大体当てはまる	34	34	29	28	30	41	29	33	33	45	28	41	35	15	32	34	
		60.9%	あまり当てはまらない	8	14	7	13	11	7	11	5	7	3	11	3	5	23	6	5	
			当てはまらない	0	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	3	3	0	1	

学年	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
2 学年	158	67	当てはまる	50	40	39	39	38	36	46	41	33	36	44	36	35	40	44	37	
			大体当てはまる	15	19	20	15	16	23	14	21	30	25	15	25	24	9	19	26	
		42.4%	あまり当てはまらない	2	7	8	13	13	7	6	4	3	5	8	5	8	17	4	3	
			当てはまらない	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	

学年	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
3 学年	165	75	当てはまる	51	42	50	36	40	41	42	36	38	35	44	41	43	36	46	43	
			大体当てはまる	18	18	18	25	21	18	21	24	30	36	18	26	24	13	19	22	
		45.5%	あまり当てはまらない	5	14	6	13	12	13	12	15	7	4	11	7	5	23	10	9	
			当てはまらない	1	1	1	0	1	3	0	0	0	0	2	1	3	3	0	1	

保護者計	在籍数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15	項目16
保護者計	474	234	当てはまる	151	125	143	125	128	120	140	130	123	114	141	125	127	127	144	132	
			大体当てはまる	67	71	67	68	67	82	64	78	93	106	61	92	83	37	70	82	
		49.4%	あまり当てはまらない	15	35	21	39	36	27	29	24	17	12	30	15	18	63	20	17	
			当てはまらない	1	3	2	1	2	5	1	2	1	1	2	2	6	7	0	3	

<職員>

職員計	配布数	回収数/率	適合度		項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15
			当てはまる	大体当てはまる	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15
職員計	78	70	当てはまる	59	39	50	37	49	44	48	42	37	46	38	39	44	46	54	
			大体当てはまる	10	27	18	32	11	18	18	24	31	21	32	21	25	18	13	
		89.7%	あまり当てはまらない	1	3	1	1	9	8	4	3	2	3	0	9	1	5	3	
			当てはまらない	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	

適合度	項目16	項目17	項目18	項目19	項目20	項目21	項目22	項目23	項目24	項目25	項目26
当てはまる	41	45	51	42	47	47	48	47	49	49	52
大体当てはまる	9	23	18	24	21	20	16	16	17	21	14
あまり当てはまらない	15	2	1	4	1	3	5	6	4	0	4
当てはまらない	5	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0

※ 学校長, 教頭, 非常勤講師, SSW, SC, パート, ALT, 育休・病休職員を除く